

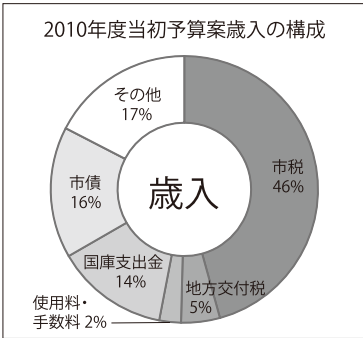
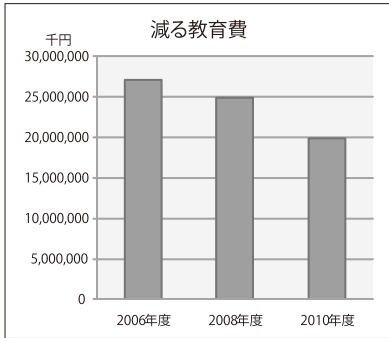
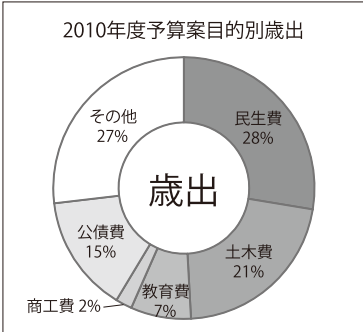
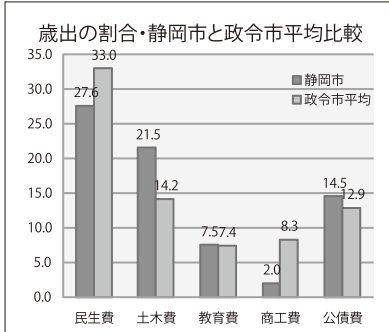
2月定例市議会

市民のくらし・地域経済 応援の予算へ論戦

日本共産党 静岡市議会議員団 ニュース

2010-No.1

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室 TEL 054-254-2111 (内) 4541
FAX 054-272-4695
アドレス http://www.jcpss.jp/
メール yksf5@jcpss.jp



22年度予算議会がはじまりました。日本共産党市議団は、市民のくらしと地域経済を応援するために論戦していきます。

小嶋市長は静岡市の22年度予算案を議会に提案しました。(別表)。

22年度は、これから5年間の市の総合計画(2次総)の初年度です。2次総の特

徴は、5年間でめざす市の姿を「世界に輝く静岡市」として、輝くひと、価値、まちの3本柱で描いています。しかし足元の市民のくらしや地域経済が大きく落ち込み、苦しんでいます。これで輝くはずはありません。ここをしっかりと応援することが最優先に求められます。

ところが小嶋市長の予算案は、国保料を値上げし、民生費はあいかわらず政令市で最低、商工費も最低、教育費も大きく落ち込ませているなど、逆立ちの予算です。

この切り替えをもとめ、党市議団は論戦します。

2月定例会会議日程

会期 2/15~3/24(38日間)
会場 静岡市庁舎本館

- 本会議 2/25(木) 午前10時より
- 総括質問[4日間] 午前10時より 3/8(月)~3/11(木)
- 常任委員会 3/12(金)、3/15(月) 午前10時より
総務委員会、上下水道教育委員会、生活文化環境委員会
- 常任委員会 3/16(火)、3/17(水) 午前10時より
厚生委員会、経済消防防災委員会、都市建設委員会
- 本会議 3/24(水) 10時より

高すぎる国保料 引き下げよ

引き下げ求める請願署名提出される

単身世帯 (単位:円)		
所得	平成21年度	平成22年度(案)
30万円	15,600	16,000
100万円	101,700	105,200
200万円	175,700	182,200
300万円	249,700	259,200
400万円	323,700	336,200

二人世帯 (単位:円)		
所得	平成21年度	平成22年度(案)
30万円	24,000	25,200
100万円	113,800	118,800
200万円	203,900	212,700
300万円	277,900	289,700
400万円	351,900	366,700

H22年度値上げ案 介護分は含みません(当局試算)

来年度国保料の値上げ案が提案され、特に若い世帯、人数の多い世帯が増額となります。「もうこれ以上払えない」と高すぎる国保料の引き下げを求める請願署名が市民団体より提出されました。

党議員団は皆さんと力を合わせ、引き下げに全力を尽くします。

職員の人件費減額はさらに景気低下を招く

補正予算に反対

一向にトンネルを抜け出さない景気低迷は市の税収にも影響を与え、歳入は55億円余の減額補正となりました。国が決めた緊急経済対策の交付金を使った事業も行われることになりましたが、好転の兆しは見えません。共産党は、市職員の人件費減額提案について、職員の士気の低下と民間労働者の賃上げにも悪影響を与え、購買力を減らし益々景気を冷え込ませるようになるとして反対しました。

本会議での質問

日時 3月8日から11日 午前10時より
会場 静岡市庁舎・本会議場

代表質問



山本明久 議員
3月9日(火)

- ①市長の基本姿勢について
- ②くらし・福祉最優先の市政に
- ③「元気な地域経済」を市政の重点に
- ④住民自治・地方自治の発展を
- ⑤子どもの貧困への対応と、どの子どもにもゆきとどいた教育を
- ⑥資源循環型社会の構築、災害から市民の命と財産を守る
- ⑦市民が身近に楽しめる文化・スポーツの振興を
- ⑧大型はこもの・開発の見直し、市民本位のまちづくりを
- ⑨平和事業の積極的展開を

総括質問



鈴木せつ子 議員
3月11日(木)

- 後期子どもプランについて
- 学校図書館
- 保育
- 子どもの貧困



内田りゆうすけ 議員
3月10日(水)

- 地域医療について
- 市営住宅について



寺尾 昭 議員
3月10日(水)

- 自然と産業・文化財を活用した有度山(日本平・久能山)振興計画について

※右記の日は予定です。詳しい日時は事務局にお問い合わせ下さい。